

JALしまねびより

今月の特集 JALしまね 第5回通常総代会開催



Naomichi

瀬幣姫神社 (浮布池)
大田市 三瓶町



第5回

通常総代会特集

J Aしまね第5回通常総代会を6月30日（日）、松江市の島根県民会館で開催しました。



議長団



投票風景

当日は、総代定数1,000人（欠員14人）に対し、965人（本人出席575人、委任状5人、書面出席385人）の出席、議長団に、稲田宗総代（くにびき地区本部）、西川友史総代（西いわみ地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。竹下組合長が「今年の5月31日をもって政府が定めた『農協改革集中推進期間』が終了した。一定の評価はあったものの、予断を許さない状況は続いている。このような時だからこそ、協同の力を結集するとともに関係機関との連携を強化し、人・農地・地域資源をフルに活用した『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』へのさらなる挑戦、そして『地域の活性化』への貢献として、組合員の皆さまの声に基づいた総合事業とJA運営を行っていく」とあいさつ。

来賓の丸山達也島根県知事からは、「昨年6月に県が掲げた農業産出額100億円増加の目標に向け、先般JAグループ島根と島根県の間で目標の早期達成に向けた共同宣言を行い、車の両輪として双方が全力を尽くすことを改めて宣言した。令和という新しい時代にふさわしい積極的な姿勢で連携関係を構築し、水田園芸をはじめとする魅力ある農業の確立、島根の強みを活かした特色ある生産の振興、地域を支えていただく中核的な担い手の確保を強力に推進していきたい。活力ある農業・農村の実現に向けて、引き続き全力で取り組んでいく」との言葉をいただきました。

また、役員改選を行い、その後の理事会において新組合長に石川寿樹の就任が決定しました。石川新組合長のもと新たな執行体制がスタートしました。

平成30年度 事業報告

平成30年度は、経済の緩やかな回復の中、企業の設備投資は堅調に推移し、個人消費も持ち直しの傾向となった一方、世界経済の緩やかな減速を背景に輸出は伸び悩み、景気の足踏み感が見られました。

また、海外では米国と中国の経済対立による貿易戦争とも呼ばれる関税政策の応酬や英国のEU離脱を巡る混乱、リーダー照射事件や元徴用工問題による韓国との関係悪化など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

島根県内の経済を振り返ると、雇用情勢は改善の動きが見られ、個人消費も緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、少子高齢化、人口減少は一段と進展していく見込みであり、景気回復の実感を得るには至っていません。

農業情勢では、豪雨や台風、地震など多くの自然災害が発生し、全国各地で農産物・農業施設等に甚大な被害をもたらした他、9月に発生した豚コレラはいまだ終息の気配が見えず、復興・防疫の取り組みを引き続き進めていく必要があります。

国際貿易交渉では、平成30年12月にTPP11、平成31年2月に日EU・EPAが発効するなど、関税の削減や撤廃に向けた動きが始まっています。今後、米国との二国間交渉が開始される見込みであり、これらの動向について引き続き注視していく必要があります。

組織情勢では、平成30年6月に公表された農

林水産省による「農協の自己改革に関するアンケート調査」の結果で浮き彫りとなった、自己改革にかかるJAの取り組みと認定農業者等の認識との乖離について、解消に向けた担い手との対話を一層進める必要があります。また、農協改革集中推進期間が期限を迎えることから、平成30年12月から取り組みを始めた「JAの自己改革に関する組合員調査」の結果を受けた組合員との関係強化やJAへの理解促進に向けた取り組みについても引き続き進めていく必要があります。

こうした状況の中、平成30年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、県や市町村、関係機関と連携し、営農指導と経営指導を通じた農業所得の増大、農業生産の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が37,752百万円、購買品供給高が33,915百万円、貯金残高が977,670百万円、貸出金残高が298,851百万円、長期共済保有高3,438,480百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.06%となりました。

収支面については、事業利益が1,628百万円、経常利益は2,594百万円。当期剰余金は1,869百万円となり、前年度実績を大きく上回りましたが、貸倒引当金の算定方法を変更したことにより、特に信用事業において貸倒引当金戻入益が933百万円発生したことが主な要因です。

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成29年度	平成30年度
財務	事業利益	1,016	1,628
	経常利益	2,189	2,594
	当期剰余金	609	1,869
	総資産	1,092,634	1,113,478
	純資産	77,986	79,235
信用事業	貯金	984,693	977,670
	預金	499,645	522,005
	貸出金	299,671	298,851
	有価証券	167,390	155,212
	国債	80,375	78,123
	その他	87,015	77,088
共済事業	長期共済保有高	3,541,460	3,438,480
	短期共済新契約掛金	10,184	9,805
購買事業	購買品供給高	34,014	33,915
販売事業	販売品販売・取扱高	38,129	37,752

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

平成30年度(第5事業年度)剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,643,671,345
2. 剰余金処分量	1,983,530,105
(1)利益準備金	374,000,000
(2)任意積立金	1,386,464,000
農業振興積立金	200,000,000
農業災害積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	150,000,000
税効果積立金	236,464,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
施設等更新積立金	200,000,000
(3)出資配当金	223,066,105
3. 次期繰越剰余金	660,141,240

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合である。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額93,486千円と、地区本部業績還元費用に充てるための繰越額100,000千円が含まれている。

令和元年度 事業方針

農業振興

方針

令和元年度は「第2次農業戦略実践3カ年営農計画」の初年度となり、第1次計画での成果と反省を踏まえ、島根農業のモデルとなる経営形態を提案することにより農業戦略を明確にし、多くの組合員がJAに結集することで「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

また、JAしまねがリーダーシップをとり、更に組合員の経営基盤の強化を進め、島根県が目標に掲げた「農業産出額目標730億円」「生産農業所得目標300億円」の目標達成に向け取り組みます。



重点事項

- ① 新規就農者を含む地域の担い手育成
- ② 担い手経営体の経営課題に対応した農業経営管理支援
- ③ JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施
- ④ 農作業等の安全・安心対策
- ⑤ 営農指導での生産者貢献
- ⑥ 農業振興支援事業の実施
- ⑦ 「重点推進5品目」の拡大を核とした水田での園芸振興の推進
- ⑧ 主食用米の「きぬむすめ」「つや姫」への品種誘導
- ⑨ 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み
- ⑩ 担い手の労力軽減の取り組み

全般

くらしの活動

豊かなくらし・地域づくりを目的とし、地域活性化の核となる取り組みとしてすすめます。

また、食と農、地域とJAを結ぶ取り組みとして、青年組織、女性部をはじめ組合員や地域住民など幅広い参

加・参画（アクティブ・メンバーシップ）を促進し、農協運動の活性化を図ります。

販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化に取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料

事業を積極的に取り組み、より一層のサービスの充実に努めます。

信用事業

総合事業の強みを活かして他業態と差別化した価値を提供しつつ、コスト削減につながる事業見直しにより持続可能な収益構造を構築し、農業・地域から一層必要とされる存在を目指します。

共済事業

組合員・利用者のくらしを守り、農業経営と地域社会に貢献する活動を展開するため、地域密着の事業活動である3Q訪問活動を通じて「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供及び「農業リスク診断活動」を実践し、一層の『信頼』を高めるとともに、次世代・次世代など新たなJAファン（理解者）づくりにより事業基盤の維持・拡大を図ります。

また、高位均質で満足度の高いサービスの提供、適正・迅速かつ効率的な事務処理の実施及びLabels（※携帯用タブレット端末）の全面活用により事業の効率化・機能強化を図り組合員・利用者ニーズに応えます。

新役員代表挨拶



代表理事組合長
石川 寿樹

この度、竹下前組合長の後を受けて、組合長に就任致しました石川でございます。もとより、その器ではございませんが、よろしくお願い申し上げます。

若干自己紹介をさせていただきますと、わたしは昭和27年生まれ、満66歳になります。昭和52年に当時の出雲市農協に入り、爾来42年に亘り、JA一筋に歩んでまいりました。

さて、7月より3年の任期をいただいたわけですが、わたしに課せられた役割は、大きく二つあると思っております。

その一つは、「統合の効果」を更に発揮することです。平成27年3月にJAしまねが誕生し、早いもので4年余りが経過しました。徐々にその成果が現れつつありますが、とは言え、統合して良かったなあと実感

できるようなレベルには達していません。まだまだ調整すべき事項がたくさん残っていますので、速やかに統一していく必要があります。

そして今一つは、「自己改革」の更なる実践です。政府主導の農協改革の集中推進期間は本年5月を以て一応のピリオドが打たれました。しかしながら、われわれ自らが掲げた「自己改革」は、むしろこれから本番です。例えば、柱の一つである「農業者の所得増大」については、生産資材価格の引き下げ等に取り組みんでまいりましたが、まだ引き下げの余地があると思っております。

また、「農業生産の拡大」についても、米の買取制度や独自の農業振興支援事業により、販売高は統合前と比較すると、平成30年度は13億円増の377億円となりました。更に令和3年度を最終年度とする次期中期経営計画では、39億円増の416億円の計画を立てています。自ら立てた計画を絵空事で終わらせるのではなく、目に見える形で実践していくことが、何よりも重要な使命だと思っております。

最後に、今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

退任役員代表挨拶



前代表理事組合長
竹下 正幸

退任にあたりごあいさつを申し上げます。

先の通常総代会を以て、任期満了により平成28年6月より務めてまいりました、代表理事組合長を退任いたしましたこととなりました。

在任中大過なくその任を果たせましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関、各団体、地域の皆様、そして職員の皆様など、本当に多くの方々のご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げます、ごあいさつ。

振り返ってみますと、JAしまねの発足以後、「信頼され、選ばれ、ご利用いただけるJA」を目指し、統合メモリの創出に向けて事業改革や運営改革などに取り組みとともに、「儲かる農業の実現」を目指し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として自己改革に取り組んで参りま

した。

また、JAの経営は経済情勢と社会情勢の変化もあり、非常に厳しい状況にあるなか、組合員の皆様の負託に因應するためには、JAの健全経営を行う体制整備に併せ、事業改革を実施する事が、私たちに課せられた課題であります。このような中、第4回通常総代会において、次期に向けた運営改革の決議をいただき、平成30年11月の臨時総代会では役員定数の見直し等の新たな運営体制についてご承認いただき、体制整備を行うことができました。一方、事業改革では、信用共済事業において、本店と支店を直結する文鎮型組織とし、事業部制的運営とするなど、一定の方向性を決定しましたが、営農経済生活事業につきましては、取り組まなければならない今後の課題が残存しています。JA改革においてはTPPやTAG等、JAを取り巻く農業情勢は依然厳しい状況が待ち受けておりますが、今後も組合員の皆様のご協力をいただき、役職員一同が共通認識を持ち、一丸となって取り組むよう期待しています。

組合員の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、心からの感謝を申し上げます、退任のごあいさつといたします。

本当にありがとうございました。



新役員紹介

J Aしまねの発展につとめてまいります。
よろしくお願い致します。



常務理事
(信用、共済)
有田 吉弘



常務理事
(営農、経済)
石川 薫



代表理事専務
高木 賢一



代表理事副組合長
山根 盛治



代表理事組合長
石川 寿樹



くにびき地区本部
常務理事 本部長
栗原 令



理事
佐々木孝子



理事
高野 智子



理事
諏訪 智子



理事
小村 伸治



やすぎ地区本部
理事
根来 茂樹



やすぎ地区本部
常務理事 本部長
伊藤 精一



くにびき地区本部
理事
多久和 宏



くにびき地区本部
理事
田中 鈴夫



くにびき地区本部
理事
菅井 一



隠岐地区本部
常務理事 本部長
佐々木賢治



雲南地区本部
理事
澤田 秀樹



雲南地区本部
理事
石原 公夫



雲南地区本部
理事
新田 昭喜



雲南地区本部
常務理事 本部長
竹下 克美



出雲地区本部
理事
藤江美由紀



出雲地区本部
理事
福島 隆



出雲地区本部
常務理事 副本部長
珍部 誠



出雲地区本部
常務理事 本部長
岡田 達文



隠岐どうぜん地区本部
常務理事 本部長
新谷 徳昭



斐川地区本部
理事
青木 広幸



斐川地区本部
常務理事 本部長
山根 善治



出雲地区本部
理事
永瀬のり子



出雲地区本部
理事
伊藤 篤男



出雲地区本部
理事
立脇 渉



いわみ中央地区本部
常務理事 本部長
佐々木 豊



島根おち地区本部
理事
山田 康司



島根おち地区本部
常務理事 本部長
日高 光弘



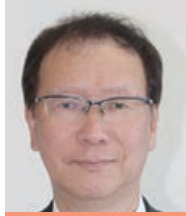
石見銀山地区本部
理事
川上 隆



石見銀山地区本部
常務理事 本部長
山崎 辰次



西いわみ地区本部
理事
青木 和憲



西いわみ地区本部
理事
中島 重秋



西いわみ地区本部
常務理事 本部長
田村 清己



いわみ中央地区本部
理事
藤若 将浩



いわみ中央地区本部
理事
中東多久夫



監事
川神 守



監事
岡 睦夫



常勤監事
田尻 宏



常勤監事
青砥 正幸



代表監事
名原 佳宏



雲南地区本部
執行役員副本部長
源 之美



くまびき地区本部
執行役員副本部長
奥原 展芳



員外監事
山川 博司

第5回 総代会



Q 1 : 正組員、准組員ともに減ってきている。このことについて、これまでの取り組みや今後の対応策を聞きたい。

A 1 : 統合以前より高齢化や死亡による脱退が進む一方で、若年層の加入が進まない状況にあります。今後の大きなテーマとして、我々の組織基盤維持の観点で検討して参ります。その中で、平成29年度より一戸複数正組合員化の取り組みを展開しており、今年度も継続して取り組む計画を立てています。また、増資の取り組みとして役職員による増資運動を前年度と今年度の2年間取り組む予定としています。

Q 2 : 農林中金からの人材受け入れの背景や、奨励金の引き下げの課題への対応等の考えを伺う。

A 2 : 農林中金は農業振興への資金支援が厳しくなるなか、全国で400名、島根県に3～4名程度の農林中金の職員を派遣する人的支援に方針が変わってきています。また今回の役員改選では農林中金から理事を受け入れる提案としています。奨励金の引き下げは以前から話があり、大変厳しい内容の中で中期3カ年計画を策定いたしました。事業改革を含めてこれから取り組んでいく考えです。

Q 3 : 貸倒引当金の算出方法の変更に伴う戻入益10億円とあるが、変更となった経過を確認したい。

A 3 : 公認会計士監査や財務処理の基準例が変更になり、これまでの税法基準から、貸倒実績率に基づく引当てを合理的な基準として引当てることとなりました。その結果、これまで引当てていたものを戻し入れることになりました。

Q 4 : 県内農業の持続可能な発展に向け、様々な担い手・後継者対策がなされてきたが、目覚ましい解決に

は至っていない。これからは行政との連携を更に進め対応することが求められるが、JAしまねの社会的使命を今一度伺いたい。

A 4 : 非常に大きな課題であり、JAのみならず島根県をあげて取り組むべき問題と思っています。特に農家を中心とした中山間地の人口減少には、産業政策、農業振興政策、そして住みよい町づくりといった課題のもとに、行政や地域の皆さんと一緒に取り組む問題と思っています。その中で、JAも率先して取り組んで参ります。

Q 5 : 教育研修機能を県中央会へ移管するとあるが、考え方やあるべき姿を伺う。また事業総利益に基づく配置ではなく、農家が必要とする人員配置や要因管理をお願いしたい。農業は土地と結びついた生産作業であり、農業者に寄り添った職員の教育が中央会にできるのか不安に感じる。地元に着した教育研修をもっと取り入れてほしい。

A 5 : 統合により教育研修の担当部署を県中央会からJAしまねの内部部署に移管した経過があります。その後の検討で、教育研修についてはJA内部よりも外部の機関がJA職員研修、育成にあたるべきであるとの考えがまとまりました。全国中央会が教育研修の統括機関として存在している中、全中、県中にてJAしまねの職員教育、人材育成を行うかたちに体制を変更するものです。またJAの事業は総合事業ですので、人員配置にあたっても事業の特性、実態を念頭におきながら基準を定め今後再配置等を実施して参ります。地域に着した教育研修についても検討して参ります。

このほかにも幅広くご意見をいただきました。



本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び剰余金処分案について
 - 第2号議案 第2次中期経営計画（令和元年度～令和3年度）の設定について
 - 第3号議案 第2次農業戦略実践3カ年営農計画の設定について
 - 第4号議案 令和元年度事業計画の設定について
 - 第5号議案 役員選任について
 - 第6号議案 定款の一部変更について
 - 第7号議案 規約の一部変更について
 - 第8号議案 監事監査規程の一部変更について
 - 第9号議案 経営基盤強化積立金規程の一部改正について
 - 第10号議案 会計監査人の選任について
 - 第11号議案 令和元年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
 - 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
 - 第13号議案 退任監事に対する退職慰労金の支給について
 - 第14号議案 令和元年度における理事の報酬額の決定について
 - 第15号議案 令和元年度における監事の報酬額の決定について
- 報告事項 「JAバンク基本方針」の変更について



「JAしまね自己改革取組宣言」 に基づき、自己改革を一層進めて まいります。

6月30日の第5回通常総代会において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けて、引き続き、組織を挙げて取り組む旨の「自己改革取組宣言」（案）が満場一致で採択されました。

JAしまね 自己改革取組宣言

JAは、農畜産物の販売事業のほか、信用事業、共済事業などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動などを通じて総合的に結びつけ、農業振興や地域づくりに取り組んでいます。「総合事業」として実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、組合員の負託に応えることが可能となっています。

また、人口減少や高齢化が進むなか、JAの各事業・サービスの提供による生活インフラ機能の発揮と、「食と農」、「助け合い」の視点から、組合員だけでなく地域住民の方々にも参加いただく「JAくらしの活動」の展開が、ますます重要なものとなってきています。

近年、農業者である正組合員に加え、JAの事業を利用し、JAの理念・活動に賛同いただける地域住民の方々の准組合員加入が増えています。准組合員の立場から、JA、農業者が進める「食の安全・安心」の取り組みを「地産地消」という形で後押しするとともに、JAが行う各組織活動への参加によって、地域農業を支える「農業振興の応援団」となっています。正組合員と准組合員の一人ひとりが力を合わせ、地域の農業とくらしを支えあっているのです。

こうした環境・背景を踏まえ、JAしまねは自己改革の3つの基本目標の実現に向けて、組合員の皆さまとともに、以下のとおり組織をあげて取り組みを進めてまいります。

記

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組めます。
2. 協同組合の原点に立ち返り、組合員の皆さまとの話し合いを、より一層深めていきます。
3. これまでも、これからも、JAしまねは総合事業を展開し、地域にとって、なくてはならない組織であり続けます。

以上

令和元年6月30日

第5回 島根県農業協同組合 通常総代会



雲南

農業者・女性部健診新設 対象広く項目充実

雲南地区本部とＪＡ島根厚生連は、農業生産や日々の生活の土台となる「健康づくり」を支援しようと、今年から新設した「農業者・女性部健診」を6月21日に同地区本部で実施しました。

農業従事者や女性部員をはじめとした組合員が対象で、一般的な健康診断の項目にはない、胸部ＣＴ検診（40歳以上）や甲状腺検査などがセットとなって、ＪＡグループの助成により7,000円で受けることができます。健診を受けた女性は「かかりつけ医では受けられなかった血液、尿検査の他にも色々検査できてよかった。来年も受けたい」と健診内容に満足した様子でした。

ＪＡ島根厚生連健診普及部の江角幸夫部長は「受診者アンケートでは約40%の方が、毎年健診を受診していない現状にあり、ＪＡグループが魅力ある健診を提供し、直接、組合員に呼び掛けることは大いに意義がある。今年は県内全11地区本部で実施を予定しており、各地区本部と協力して取り組みを進めたい」と話しました。



「農業者・女性部健診」を受ける女性

くにびき

カボチャを重点振興品目に！ 6月下旬より共販出荷を開始

くにびき地区本部は7月2日、中海干拓研修センターで「カボチャ出荷検討会」を開催し、生産者やＪＡ職員、各市場担当者など43名が参加しました。

6月27日より、松江市内の市場を中心に広島や大阪の市場に向け、共販出荷を開始しており、品質や生育状況、出荷する際の規格や品質基準、収穫適期、保存方法を確認する目的で開催しました。

当日は、松江合同青果や広印広島青果、東果大阪の担当者が市場の情勢について解説。続いて、営農指導課の犬山浩二園芸特産係長が「収穫後にキュアリングをすることで腐れを防ぎ、甘みも増す。収穫適期を逃さず、適切な保存に努めてほしい」と説明しました。その後、参加者は出荷前のカボチャを実際に手に取ったり、試食したりするなど品質や味を確認しました。

同課の岩田政彦課長は「昨年より重点振興品目として取り組んでいる。ほくほくとした食感と濃厚な甘みを堪能してほしい」とＰＲしました。

参加した吉岡清さん（朝酌町）は「コクがあり、おいしいカボチャなのでたくさんの方に食べてもらいたい」と話しました。

今年度は共販面積を1.6haから3.5haに拡大。出荷量は92tを計画しており、出荷は8月末まで続きます。



カボチャを手に取り状態を確認する参加者

隠岐

ＪＡ女子大学で ぶどう狩りを体験

ＪＡしまね女子大学隠岐キャンパスは7月27日、第8回目の講座として日帰り修学旅行を行いました。朝早くから高速船レインボーに乗船し、出雲地区本部管内でぶどう園を経営する大社観光ぶどう園へ出かけました。ぶどう園では、今が旬の「デラウェア」狩りを体験し、出雲地区本部管内の特産品であるぶどうを味わうことができ、参加した生徒からは「甘くて大変おいしい」と好評で、1人2房程度はぺろりと食べていました。今年は天候不順等の影響で良品が例年に比べて少ないとのことから、生徒からは「良品のぶどうが沢山ある時にまた来たいね」と声が聞こえました。

ぶどう狩りの後は、歴史を感じる体験を目的に松江の堀川遊覧船に乗船しました。隠岐の人間は船に乗る機会が多いものの、風情のある松江城の周辺をゆったりと遊覧できたことは、一緒に旅をした者同士の良い思い出になりました。



やすぎ

ホック食育フェスタで 金芽米をＰＲ

やすぎ地区本部は松江市のくにびきメッセで6月22・23日の2日間、(株)フーズマーケットホックが主催する「ホック食育フェスタ2019」に出展しました。

同地区本部はＪＡしまねの「金芽米」と「ロウカット玄米」をＰＲするため、試食や健康特性の説明などを行い、来場者に好評でした。また、家庭でも食べてもらおうと、サンプルとして金芽米3合を400袋プレゼントし、サンプルを受け取った来場者は「今日いただいた金芽米を家族と一緒に食べてみます」と話しました。

今年は食品メーカーをはじめとする約60のブースが出展、2日間で約1万名が来場し大いに盛り上がりました。精米センターの三島裕所長は「金芽米のおいしさを実感してもらおう良い機会となった。さらに金芽米の認知度を高めたい」と話しました。



斐川 美肌はとむぎ料理講習会

斐川地区本部よい食工房は7月9日、ひかわあぐりキッチンふぁみーゆで「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して「美肌はとむぎ料理講習会」を開催しました。はとむぎに興味を持つ13名が参加し、郷土マクロビアンの岡 里美さんを講師に招き、「はとむぎ茶飯」「とうもろこしとはとむぎのスープ」など計5品を調理しました。出来上がった料理を岡さんと一緒に堪能しながら、はとむぎについての効果・効能についての説明を受けた参加者は、「地元こんな素晴らしい食材があったなんて驚いた!」「健康と美容のためにも、これからも家族で食べていきたい」などと感想を話しました。健康・美容志向が高まる中、よい食工房では斐川町産のはとむぎの良さを多くの人に知ってもらうために、このような料理講習会を今後も継続して開催していく予定です。



石見銀山 大田市長へメロンを贈呈

温泉津町施設園芸組合の岩倉勝政組合長、厚朴邦広副組合長は7月11日、大田産メロンPRのため大田市役所を訪れ、楯野弘和大田市長に「アムスメロン」を贈呈しました。同組合では7月3日から「アムスメロン」の出荷が始まっています。

早速、試食した楯野市長は「とても甘くておいしい」と感想を話しました。

岩倉組合長は「糖度が高く、美味しいメロンに出来上がっている」と語りました。

大田市長へのメロン贈呈は地元産のメロンを広くPRしていきたいという思いから企画しています。

楯野市長は「暑い中の作業だが、体調に気をつけながら地域のために頑張っていたください」と激励しました。



市長（左）にメロンを贈呈する岩倉組合長（中央）、厚朴副組合長

隠岐 どうぜん 令和初の家畜市場の開催

7月3、4日の両日、新元号初の隠岐どうぜん管内家畜市場が開催されました。隠岐諸島では、春（3月）、夏（7月）、秋（11月）の年3回家畜市場が開催され、島の一大イベントとして風物詩となっています。隠岐どうぜん管内は、知夫里島（知夫村）、中ノ島（海士町）、西ノ島（西ノ島町）の3島3町村で構成されており、各町村に家畜市場が常設されていて、畜産の重要性が理解できると思います。3日の知夫市場を皮切りに、海士市場、翌4日の西ノ島市場と、子牛240頭、成牛22頭の合計262頭の上場となり、前回（3月）市場より上場頭数は減りましたが、平均価格は若干上昇しました。畜産総合施設として開設した西ノ島家畜市場が、関係者の協力によりスムーズな運営となり、無事1周年を迎えた記念を込め、前日の2日に当施設中央広場にて、購買者、畜産農家とJAをはじめとする関係者による、バーベキュー意見交換会を開催しました。出席者の貴重な意見を聞くことができ、有意義なひと時となりました。また、今後もこのような場を設けてほしいとの声が多く聞かれ、畜産の活況に結び付けたいと同時に大きな励みになりました。



出雲 島根県産シャインマスカット 出荷本格化を前に目合わせ

出雲地区本部は7月15日、同地区本部荒茅ぶどう集荷所で令和元年産「シャインマスカット」の出荷目合わせ会を開きました。出荷の本格化を前に、生産者ら約150人が等級規格を確認しました。

同地区本部管内の「シャインマスカット」の作付面積は右肩上がりで増えており、今年産は28ヘクタール（前年比16%増）で栽培します。ギフト需要に対応するため8月上旬までの出荷量を伸ばし、管内の販売金額3億円を目指します。

同部会大粒系部の吾郷均部長は「品質重視で他産地と勝負していく。商品を扱っているという意識を持って、選果選別を徹底してほしい」と呼びかけました。

JAしまねでは、激化する産地間競争に対応しようと、今年産から県下の「シャインマスカット」の共同計算を実施しています。一元的に管理して品質の高位平準化を図るとともに、ロットの拡大で売り場確保、県産「シャインマスカット」の地位向上を図ります。



出荷規格を確認する生産者

西いわみ

益田市長に旬のメロンと ブドウを贈呈しました

旬を迎えるメロンと、大粒系ブドウを味わってもらおうと7月10日、益田メロン部会(部会長大場尚俊)と西いわみぶどう部会(部会長岩本和雄)が揃って益田市山本浩章市長を訪ね、「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を贈呈し益田産農産物をPRしました。

当日は同市常盤町の市長室に、大場部会長と岩本部会長が化粧箱に入った「アールスメロン」と「シャインマスカット」「巨峰」「ピオーネ」を持参しました。

試食した山本市長は「メロンは口当たりが良くとても甘い。ブドウも香りが良くおいしい」と喜びました。

JAでは、今後も管内農産物のPRや販売促進に向けた取り組みを継続していく計画です。



島根
おおち

ケイトウ栽培いよいよ大詰め

島根おおち女性部では営農活動として「ケイトウ栽培」に取り組んでおり、今年で8年目をむかえました。2月に開催した「ケイトウ栽培講習会」を皮切りに、4月中旬からは各支部で「種まき講習会」、5月には「定植に向けた栽培現地講習会」、6月には「栽培管理講習会」、7月には「出荷目合わせ会」を開催し、出荷のピークとなるお盆に向け準備を行っています。天候に左右され、毎年様々な課題もありますが、4月に一粒一粒丁寧に蒔いた種は順調に成長し出荷時期を待っています。今年も「赤」、「オレンジ」、「ピンク」3色のケイトウの出荷を予定しています。

島根おおち女性部では「ケイトウ栽培」の活動を継続していくことで、ケイトウ栽培の輪、そして女性部活動の輪を拡げていきたいと考えています。



ケイトウの生育状態を確認する島根おおち女性部寺内部長

本店

アグリミーティング& 農機総合展示会 大盛況!

6月13、14日の2日間、松江市のくにびきメッセで「アグリミーティング2019」と「第9回農機総合展示会」を開催しました。

今年のテーマは「『新時代』みんなで創るしまねの農業～島根の農業半端ないって!!～」に設定。相談コーナーなど様々なブースや、最新農業機械を展示し、担い手の皆さまが抱える様々な課題の解決に向けて、JAグループの総合力を発揮し提案しました。県内で生産された旬の野菜や果物、加工品を販売し島根農業の魅力を発信する「島根大産直市」も同時に開催し、2日間で担い手や一般消費者あわせて5,500人の皆さまにご来場いただきました。

メインステージでは「下町ロケット ヤタガラス編」の登場人物のモデルとなった北海道大学大学院農学研究院副研究院長・教授の野口伸氏から、スマート農業技術の必要性や実用化が期待される最新の技術について講演いただいたほか、女性部フレッシュミズ部会がプロデュースした農作業着ファッションショーを行うなど会場は大変盛り上がりしました。



相談ブースやメーカーの展示が並ぶ会場は多くの人で賑わいました

いわみ
中央

青年連盟 出前授業で地域と交流

いわみ中央青年連盟(柿木悟委員長)は7月19日、公民館活動の一環として浜田市社会福祉協議会の生活支援コーディネーターからの依頼を受け、この度、初めてこんにゃく作りの出前授業を行いました。当日は20名の参加者を4班に分け、こんにゃく芋をサイコロ状にカットするところから作業を始めました。作業中は和気あいあいとおしゃべりしながらでしたが、最終工程の茹でる段階になると、他の班の出来具合が気になるのか、集中し徐々に無言になりました。自分達で作ったものは臭みもなく、格別においしいこんにゃくが出来上がりました!参加された皆さんは大満足でした。青年連盟は今後も交流活動や、食農教育活動を積極的に行っていきます。



JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

古谷光教さん（44歳）は、隠岐郡知夫村で繁殖牛を飼育しています。知夫村での飼育は、その環境を活かした放牧が主となりますが、一方で放牧であるが故の事故や牛の行方不明などが起こりやすい状況があります。古谷さんは牛たちが事故にあわないよう、毎日の観察や見回りを徹底するなど、細やかな気配りを欠かしません。

JAしまね農業振興支援事業は平成29年11月に新規就農の際、就農にあたって必要となる牛舎の整備や畜産専用機械の導入、また牛の価格高騰が続いていることから所得の安定を図るため繁殖母体となる雌牛の早期確保に活用しました。

新規就農者や後継者不足など隠岐地域の大きな課題に向け、JAには新規就農者や家畜農家への継続的な支援を期待しています。

古谷さんからは「年間出荷頭数30頭が目標。知夫村全体の出荷頭数の増加に貢献したい」と意欲をお話いただきました。

隠岐郡知夫村 古谷 光教さん



一所懸命 青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟は、島根県のほぼ中心にある邑南町、川本町、美郷町、江津市桜江町の盟友146名で構成されています。活動については、食農教育活動に力をいれており、管内の保育所、園に野菜苗を配布し、その収穫した野菜と盟友が作った野菜を使って「愛菜カレーの日」というイベントを開催しています。管内すべての保育所、園（16ヶ所）で、園児と一緒に野菜を切ったり、皮をむいたりしてカレーを作り、食べて交流しました。また、盟友が食に関する紙芝居を読んで園児達も熱心に聞いていました。今後もJAしまね島根おおち青年連盟は、未来を担う子供たちと一緒に、食農教育活動を続けていきたいと思ひます。



地区本部長就任ごあいさつ

島根県農業協同組合島根おおち地区本部
常務理事本部長 日 高光 弘



組合員をはじめ地域の皆様方にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日ごろよりJA事業に関しまして、格別のご理解とご協力ご利用を戴き、衷心より厚く御礼申し上げます。

このたび、6月30日に開催の第5回通常総代会において理事に選任され、引続きの理事会において島根おおち地区本部常務理事本部長に再任戴きました。その責任の重さに身の引き締まる思いであります。全力で職務に当り、職責を全うする所存でございます。

中山間地における農業とJA情勢は厳しい状況にありますが、所信でも申し上げておりますとおり、地域農業の振興、地域の活性化を目指し、信頼と健全経営に努め、引き続きJA自己改革をすすめ、農業所得増大・農業生産拡大と地域社会発展に取り組み所存でございます。より信頼され、必要とされるJA地区本部づくりに邁進いたします。

皆様には、JAしまねに対しまして、更なるご理解とご協力を戴きますようお願い申し上げます。また、ますますのご健勝をお祈り申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

地区本部理事就任ごあいさつ

島根県農業協同組合島根おおち地区本部
理事 山 田 康 司



このたび、6月30日に開催されました第5回通常総代会において理事に選任され、理事

会において島根おおち地区本部理事に再任戴きました。運営体制改革による地区本部理事数が減員となる中、責任の重大さを感じているところではございますが、本部長を支え精一杯職責を全うする所存でございますので何卒よろしくお願い申し上げます。

す。

農業・JAを取り巻く情勢は、一段と厳しく、農業生産基盤の脆弱化、JA組織基盤の弱体化の危機に直面していますが、現在、取り組んでいます自己改革の更なる実践を通じて持続可能な農業の実現、豊か度ぐらにしやすい地域社会の実現、協同組合としての役割発揮を目指し、組合員・地域の皆様に信頼される組合運営に取り組み所存でございます。

皆様には今後一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

島根県農業協同組合 島根おおち地区本部 新役員・運営委員

役 員		運 営 委 員																		
常務理事本部長		瑞穂地区																		
理 事		羽須美地区																		
日 高光 弘	山 田 康 司	品 川 隆 博	服 部 真 生	竹 内 真 覚	日 高 建 保	三 上 雄	上 田 文 雄	掛 川 佳 孝	服 部 寿	安 田 英 昭	市 川 健 昭	福 間 真 治	松 浦 真 治	松 嶋 浩 孝	黒 川 民 次 郎	千 代 延 正 喜	崎 谷 靖 徳	寺 内 洋 子	岩 谷 美 田 紀	有 井 裕 人





第5回島根おおち地区本部総代説明会

6月15日(土)、第5回島根おおち地区本部総代説明会を、邑南町矢上交流センターにて開催しました。当日は、総代定数67人のうち、50人の出席をいただきました。

事業報告

平成30年度は、雪害・地震・豪雨とまさに災害の年であり、生活・営農に取り厳しい年となりました。災害時には、JAGグループ・行政をはじめ、各地から組合員・地域住民の不安を取り除き、一日でも早い復興を願うご支援をいただきました。また、農業施設・農機具

等においては、生産活動が早期に再開されるよう農業災害復興対策支援事業を活用して復興に取り組みました。

主な事業活動について、営農では、昨年全国で評価をいただいた特別栽培米「石見高原ハーブ米」を水稲振興計画に基づき生産地

域での振興品種に沿った生産拡大に取り組むなど売れる米づくりを展開し、JAしまね農業振興支援事業を活用した園芸推進品目の拡大、しまね和牛増頭支援を行いました。

施設整備では、平成29年8月より着工した都賀・角谷両小水力発電所が完成し、運転を開始することができました。これからは安全・安定運転につとめ地域から安全なクリーンエネルギーを発信してまいります。また、美郷町のご支援で邑智米倉庫の低温化工事も完了整備しました。

運営面では、近年のマイナス金利の影響を受け、信用収益の更なる縮小、職員の減少による経営悪化、事業維持が難しくなることが予想されることから、事業見直しを行い、2月末をもって自動車事業の廃止を実施しました。今後も組合員・利用者との話し合いの場を設け、より一層の効率化・合理化と実施可能な事業の取捨選択を行うてまいります。

管内の主食用水稲の作付けは、1,515haで、県からの配分面積に対し98.8%となりました。水稲の生育は、田植時期の天候不順、低温による初期生育の遅延がありました。その後、6月までは平年並

みの天候、生育となりましたが、7月に入ると豪雨があり、江の川周辺の水田が冠水する被害がありました。7月豪雨以降は猛暑乾燥となり、分げつが進まないうちに出穂して穂数が少なくなる圃場が多く見られ、収量が減少しました。9月以降は雨天が続いた為、稲刈りに支障の出る圃場も見受けられました。水稲の作柄について、島根県の10a当たり予想収量は524kgとなり、石見地区が499kg(前年産に比べ6kgの減) 作況指数は100の「平年並み」となりました。管内の1等米比率(うるち米)は87.9%(前年度88.5%)と前年

並みで、格下げ理由としてはコシヒカリを中心に「心拍粒」・「基部未熟粒」が大半を占めていました。ブランド米「石見高原ハーブ米」については、ハーブ米コシヒカリが155鈔(前年156.3鈔) ハーブ米きぬむすめが32.9鈔(前年22.3鈔)とハーブ米きぬむすめの作付が増加し、出荷量はハーブ米コシヒカリが473t、ハーブ米きぬむすめが122tとなりました。

島根おおち地区本部の最終決算状況は、事業総利益が19億5,175万円、事業管理費が17億9,731万円、事業利益1億5,444万円、当期剰余金

財務・事業実績 (単位：千円)

	30年度
事業利益	154,438
経常利益	218,854
当期剰余金	212,234
貯金	58,427,143
貸出金	11,600,668
長期共済保有高	193,667,910
短期共済新契約掛金	713,636
購買品供給高	2,638,553
受託・買取販売品	1,570,245
業績還元実施額	14,906

※平成30年4月1日～平成31年3月31日の実績です。

島根おおち地区本部 組合員の状況 (単位：組合員数)

資格区分	当期首	当期増加	当期減少	当期末
個人	4,477	281	177	4,581
法人	農事組合法人	37	1	38
	その他の法人	2	0	2
計	4,516	282	177	4,621
個人	6,484	135	451	6,168
農業協同組合	1	0	0	1
農事組合法人				0
その他の団体	211	1	14	198
計	6,696	136	465	6,367
合計	11,212	418	642	10,988

(備考) 当期末正組合員戸数 3,751戸
当期末准組合員戸数 3,929戸

※「当期首」は平成30年4月1日現在であり、「当期末」は平成31年3月31日現在です。

2億1,223万円となりました。この一年間、当地区本部運営にご理解とご協力をいただいた組合員、関係者の皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。今後も益々のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総代説明会

6月15



Q 役員報酬額についての提案があるが、役員個人の報酬額に変動はあるのか。

A 今回の運営体制により、報酬額全体では約1億3千万程度の圧縮となりました。(今回の総額は、現在の役員報酬3ヶ月分が含まれている。)役員個々の報酬については、外部からの有識者で構成する役員報酬審議会でご協議いただき、定数減の中、現状の報酬を限度にとの答申をいただき提案しています。

Q 人事教育部門において、事業総利益に基づいた人員配置を実施するとあるが、事業総利益は信用・共済事業が大き

いため営農関係の職員が減らされるのではないかと心配しています。

A 事業総利益を基本としていますが、あくまでのJAの主体事業は営農分野であり、事業総利益や採算性のみで人員配置を行うことは考えられません。適正役員を求めていくために事業総利益に基づくとしています。

また、労働生産性や人件費分配率を部門ごとに評価し適正要件の基礎を定めて行くこととしています。ただし、「営農事業だから常に赤字でも良い。」ということではなく、事業の効率化やコストを評価値から意識することは重要であると考えています。

Q ドローンの導入は、機器代、資格関係において多大な費用がかかる。JAで購入し、作業を受託することはできないか。

A ドローンは管内で数件購入実態があります。他では検討されています。

るものの、購入には至っていないのが現状です。今後、JAとして導入・運営等協議を行いたいと考えています。

Q 米について、買取制度になったが、買取取った米は倉庫等に保管している。そのため保管料が発生し、その費用は買取価格に含まれているのではないかと心配しています。

A 買い取った米は当然、所有権はJAに移転します。そのため買い取った米の新たな保管料は発生しません。ただし、買い取った米を売り渡す際に発生する必要経費の中には運賃・保管料等が含まれており、買い取り価格決定時において必要経費等をお示しして買取価格を決定しています。

Q 共済について、掛け捨ての火災共済はあるが、自然災害にも備えられる総合保障型の共済がない。今後検討する必要があるのではないかと心配しています。

【営農】

Q 肥料の中で名前の無い肥料袋、例えば17-0-17等について、業者と検討して頂き、使い易く覚えやすいネーミングにして頂きたい。

A 現在JAグループの追肥17-0-17は、窒素、リン酸、加里の成分を表し黄色の肥料袋で、春の元肥は12-18-14と言う名前成分2-8-4を表して販売しております。この2つの肥

A JAでは総合保障的な共済として掛け捨て型の建物更生共済があります。が必要であることから全共連にも働きかけを行っていきたくと考えています。

Q 本日の説明で職員の削減とあったが、最近の採用状況、欠員部署はあるのか教えてほしい。また、職員に対する温かみのある指導、働き続けることが出来る職場環境をお願いしたい。

A 現在の就職戦線は、売り手市場の環境から十分な採用が出来ていない状況であるため、中途採用募集も行っていきます。地区本部においては、中途採用はあるが新卒採用はここ2年間無い状態です。人員が少ないなか、事業の効率化等を含め適正な配置に心掛けていきます。

料につきましては、JAグループが資材の価格低減化のため肥料メーカーと交渉し、コストを抑えた肥料袋として提供しているのが現状です。これまでは、島コシ化成、463、名前を聞くかと判るネーミングにしましたが、各地区本部においてもネーミングについては議論されておりました。ご指摘のように、皆様にわかりやすい肥料を実現するように提案していきます。

令和元年度上期 地区別連絡員会議



令和元年7月8日～11日

島根おおち地区本部では、各地区において上期の連絡員会議を開催しました。連絡員会議の主な意見、質問についてお知らせします。

Q 今年の水稲苗は、山なり型で長い短いがあり植えつけがうまくできないほど悪く、正規の料金での請求はおかしいのではないか。また昨年、ライセンサーへの苗の搬入時における職員対応も悪かった。

A そのような苗をお届けしたことや、対応についてお詫び致します。苗については今一度調査し経緯を報告させていただきます。また対応等、職員教育を徹底させていただきます。

【生活】

Q 店舗の売り上げが記載されているが、20年前と比較し、かなり金額が減少しているが、Aコープの売上は入っているのか。

A 記載の売り上げは、委託店舗（石見3店舗、羽須美1店舗、大和1店舗川本1店舗）の数字であり、Aコープは入っていません。

Q Aコープは組合員のものという認識だが、どうなのか伺いたい。また、オーストラリア産の肉は店頭には置かないのか。

A AコープはAコープ西日本として、広島商工センターに本社を置き、全農から約80%の出資を受けており、JAも約6%の出資をしています。現在のAコープとの関係は、建物の賃貸、経営について赤字が出た場合は関係会社として影響がある関係です。

農産物については、国内農産物の取り扱いを基本とされ、外国産の販売はしていません。

Q 三原店舗の閉店について、三原地区の皆さんはどのような意見であるか。

A 残すべきだという声が多くありました。しかし売り上げの減少が続いている中でJAが委託店舗の経営に補填をすることは総合的に不可能であると判断し、閉鎖することを組織決定しました。

Q 江津葬祭会館は昨年からJAが運営しているが、案内看板が少なく目立たない印象を受ける。家族葬が増加する中で経営状態について教えて欲しい。

A いわみ中央地区本部管轄の子会社です。決算では1,181万円の当期剰余金を生んでおり経営は良好です。桜江地区の葬儀について、できれば地区内に葬祭場を設営し、地域の方にご利用いただくことが望ましいと思えますが、適当な場所がなく今のところは難しい状況です。

【企画総務】

Q 新聞報道でもあったが、担い手不在集落について、地区本部内の現状と今後のJAとしての対応を教えてください。

A 大田・邑智県域で241ヶ所と報道されていますが、地区本部とし

ては調査方法等も含め実態把握はしていません。大和地域における法人は4法人ありますが、担い手不在集落の実態把握に努めながら行政指導のファームサポート美郷との連携を通じてJAとしてのアプローチを検討していきたいと考えています。

Q 農林水産省の調査によると全国の約6割の農協が、本業の農業関連事業で赤字となっている。地区本部の現状と今後の見通しを伺いたい。

A 平成30年度の地区本部の部門収支は信用・共済関連事業は黒字、営農・生活・指導関連事業は赤字となりました。令和元年度は、JAしまねとしての事業改革を本格化させ、事業効率化と重複業務の見直し、部門採算性の改善を目指しており、地区本部も一体となって取り組んでまいります。

Q 平成30年度決算において約26億円の剰余金が出ているが、東部等の規模の大きい地区本部の頑張りによるものか。

A 26億円の未処分剰余金の内、約6億は前期の繰越金、約10億は貸倒引当金基準の会計ルールの変更によるものであり、単年度実態は10億程度です。その中で地区本部としては1億の収益を上げ、健全に経営を行っている地区本部です。

Q 島根県知事選挙でのJA対応について伺いたい。

A 農政会議において候補者を推薦決定されました。農政会議とJAは一体であり、組合長が後援会長に就任しました。当地区本部においても島根におち農政会議で推薦決定された候補者を支援しました。各本部長はそれぞれの立場で候補者の支援を決定しています。

Q 通常総代会資料に、すべての事業の効率化、金融、営農の施設等の見直しとあるが、中山間地の中での見直しという事は、支店統廃合ではないか。本部長にはそのような事が無いようにお願いしたい。地域の支店を守っていくためには毎日野金に行くことで健康にもなり店舗実績が上がりが統廃合がなくなる等の話を聞いた。このように地域一体となって運動ができないかと思っている。

A 店舗窓口を利用する事により、皆で盛り上げようという暖かいご提案をいただきました。現在、地区本部には7つの支店窓口があります。これは統廃合を重ね、各旧町村で残した店舗であり、この7つの店舗につきましては何としても続けたい、この思い一杯です。今後の見直しの中では、若干の業務縮小という形に変わってくると思いますが、今の店舗を相談窓口として、金融だけでなく、営農経済の窓口として廃止は考えていません。



愛菜カレーの日

島根おおち地区本部では7月23日、青年連盟、女性部と協力して管内16の保育園、保育所の園児とカレーを作って食べる食育イベント「愛菜カレーの日」を開催しました。

地元産食材のおいしさを伝えるこの食育イベントは今年で12年目を迎え、地産地消と食育への理解を呼びかけ、多くの方に参加していただく恒例のイベントとなりました。

当日は、JA役職員、青年連盟盟友、女性部員らが管内の保育園、保育所を訪問し、島根おおち地区本部のブランドである「石見高原ハーブ米」、「石見和牛肉」のほか、管内で生産された白ねぎ、ナス、トマトなど10種類以上の野菜を、園児の手をとりながら一緒に調理を行いました。園児はにぎわいながらも、真剣な表情で、皮むきやカットをしていき、自

分たちで仕上げた食材を前に笑顔を見せていました。煮込む間には、調理した食材や食育に関する紙芝居やクイズなどを行い、園児たちは楽しそうに聞き、答えていました。

カレーが出来あがると、自分たちで調理したカレーを皿に盛り、JA職員、青年連盟盟友、女性部員と共に大勢で賑わいながらの昼食となりました。おかわりをしたり、トマトを口いっぱい頬張ったりと、園児たちは「美味しい！」と終始笑顔で、地元食材がたっぷり入った愛菜カレーを味わいました。

島根おおち地区本部、青年連盟、女性部では、今後も地産地消の大切さを次世代に伝えるため、こうした食育活動に取り組み、地域に根差した食農教育を目指していきます。



いだけいただきます！

あんまり見られたら食べにくいよ😊

完食♡

おかわりするぞお

カレーおいしい♡

「しまね夏の花」品評会開催

7月26日(金)から7月28日(日)にかけて、出雲市ゆめタウン出雲で「しまね夏の花」品評会が開催されました。県内より106点の出品があり、島根おおち管内からも9点の出品されました。審査の結果、島根おおち地区本部花き部会しきの会から出品された2名が見事入賞されました。入賞された前会長の掛川さんは「この受賞を励みに、より一層、品質の良いものを作り固定客並びに販売拡大に向けていきます。」と抱負を話されていました。

しきの会の花は島根・広島・岡山・関西のそれぞれの市場で評価して頂いております。

7月
26
〜
7月
28

島根おおち地区本部の受賞者は次のとおりです。
(敬称略)



(株)JA アグリ島根
社長賞
邑南町 掛川 佳孝
トルコギキョウ
(ハピネスホワイト)



(株)JF兵庫県生花
社長賞
邑南町 丸原 博幸
トルコギキョウ
(ハピネスホワイト)



受賞された
丸原 博幸さん

家の光懇話会の開催

島根おおち地区本部では家の光愛読者、組合員、利用者の皆様に家の光懇話会を管内7支店で開催しました。この懇話会は家の光ご購入の皆さまの他、JAをご愛顧いただいている皆さまへの感謝の気持ちを込め開催を始めて、今年で4年目を迎えました。例年、一般社団法人家の光協会の方にもご参加いただき、家の光の記事を使い、楽しく過ごしていただこうと計画しています。今年も7月号の記事からタオルハンカチを使った『ハンドタオルアート』や、別冊付録の物忘れ、認知症を予防する『脳トレぬり絵&パズル』からは「点つなぎ」を、そして『温活の勧め』の記事では、長タオルを使って、夏バテの原因ともなる冷えの解消法を実際にやってみました。その他『マイヒストリー雨天晴天 野村克也さん』、『わが家のカレー大実験』、『知らない怖い歯周病』、『農薬だけに頼らない 夏野菜の病害虫対策』の記事を読み合わせました。また、家の光のレシピ『焼かない夏ケーキ』の中から「ヨーグルトタルト」と『夏の元気アップドリンク』の中から「リンゴ酢トマトジュース」の試食と試飲などをしてもらいました。参加された方からは「バラエティに富んでいて学ぶことが多い、ためになった。」「楽しいひと時を過ごせた。」「帰ったらケーキを作ってみよう。」「などの感想をいただきました。

7月
2
〜
7月
16



ゆとり倶楽部講座開催

7月
17

島根おうち地区本部は、川本町「悠邑ふるさと会館」においてゆとり倶楽部第3回講座を開講しました。今回はトールペイント講師、出雲市ゴミ減量化アドバイザーをしておられる澄川千恵子先生をお迎えしてリサイクルについて学びました。前年は食品トレー、前々年は米袋のリメイクをしましたが、今年は牛乳やジュースなど1ℓの紙パックを使つてのバスケット作りを行いました。バスケットにリメイクしました。当日は24名が集まり、まづ3つの紙パックを測り、指定された寸法で切込み等を入れました。内2つの紙パックは、底を中心に四方に開くよう切り目を入れ、残りの1つは、持ち手と上部の縁用に带状に切りました。次に先生から編み始めの注意点を聞いたあと、放射状に切り開いた2つの紙パックを組み合わせてバスケットを編む作業に移りました。みんな苦戦しながら「頭の体操だ。」などと話しながら黙々と編み上げ、編み終わり部分をハサミで切り揃え、带状に切ったパーツを両面テープで貼り、持ち手を付けました。最後に好みのデザインのペーパーナプキンを貼って出来上がりました。受講生たちは「初めてでなかなか大変だった。」「完成できて良かった。」「今回少し時間がかかりましたが、リメイクすることで再びおしゃれに使えることを学びました。」



第21回瑞穂・羽須美年金友の会総会

7月
13

2年に1度の開催となる瑞穂・羽須美年金友の会総会が、邑南町田所公民館において瑞穂地区・羽須美地区の年金受給者190名が出席され盛大に開催されました。午前中の総会では、平成29、30年度の事業報告・会計報告および令和1、2年の活動計画・収支計画が審議され承認されました。昼食からの午後の部では、懇親会としてアトラクションが行われ、矢上の「やまんば太鼓」による和太鼓の演奏、悪徳商法を題材にした劇、サンバの踊りや、瑞穂地区の富永英明さんによる歌謡ショー、羽須美地区の本清小三郎さんによる東京五輪音頭が披露されました。また支店職員による余芸も行い、瑞穂支店は振り込め詐欺を題材にした寸劇を、羽須美支店は千手観音を披露しました。多くの出席があった会場内は終始盛り上がりを見せ、熱冷めぬ間に閉会となりました。



J A女子大学「つくしんぼ」講座開講



島根おちち地区本部は女子大学「つくしんぼ」8期生の第8回講座を開講しました。今回の講座は「年金のお話し」と題して当地区本部金融共済部の児玉職員と田澤職員が講師を担当しました。始めに「年金のしくみ」に併せて「ライフステージと年金」について、成人、就職、結婚、定年などのライフステージの中で良い事だけでなく、思わぬアクシデントに遭遇する事もある。人生の転機に大きく関わっているのが年金であることを夫婦の人生を例に分かり易く説明を受けました。後半は具体的に「ねんきん定期便」の見方、老後に不足の2000万問題に併せて年金額を増やす方法、配偶者が万が一の時、障害を負った時、離婚した時など知っていればいざと言う時に役に立つ話しを聞きました。また、当日受講した学生2名の、個々の現在の状況に即したアドバイスも受けることができ、「大変勉強になった。年金はまだ自分には遠い話だと思っていたが、すぐく身近に感じられた。」「万が一の事を考えると大切な物だと思った。」などと有意義な講座になったようです。

7月
20

神楽甲子園出場の矢上高校へ支援金贈呈

島根おちち地区本部とJA共済連島根は、7月27日・28日に広島県安芸高田市で開催される神楽甲子園に出場する矢上高校に、高校生の健全な育成、地域文化活動および後継者育成活動の支援のため活動支援金を贈呈しました。

矢上高校で行われた寄贈式では、日高本部長が趣意書を読み上げ、大会での日頃の練習の成果の発揮と伝統芸能の継承への取り組みを期待し目録を手渡しました。昨年台風の影響により、矢上高校は神楽甲子園に出場することができなかつたため、当日は2年ぶりに生徒の気迫溢れる舞が披露されました。

JAしまねとJA共済連島根では、地域活性化に対する取り組みを支援し、地域づくりに貢献することを目指していきます。



7月
23

年金友の会グラウンドゴルフ大会

第8回JAしまね川本支店年金受給者友の会グラウンドゴルフ大会が川本町の三島グラウンドゴルフ場にて開催されました。

梅雨入りしたため天候を心配していましたが、競技中は参加者の熱気溢れるプレーの気迫に押され、なんとか持ちこたえ、ホールインワンラッシュの中、和気あいあいの雰囲気での会員間の親睦を深める事ができました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

優勝 光田 忠正
準優勝 山下 洋子
第3位 沖田 正人



7月
2

役職員大会開催

島根おちち地区本部では、邑南町田所公民館において令和元年度上期役職員大会を開催しました。当地区本部では、

年2回の役職員大会で全職員を対象とした研修を行い、ハラスメント等を生まない風通しの良い職場づくりを考える人権啓発研修を行った他、インターネットからのウイルス感染やパスワード窃取による個人情報漏えい等を起こさないために注意しなければならぬことなどを改めて確認するための情報セキュリティに関する研修を行いました。

また、平成30年度にJAしまねの各支店が発行した支店だよりを集めた「支店だよりコンクール」において、「大賞」を受賞した羽須美支店と、「銀賞」を受賞した川本支店の表彰を行いました。

島根おちち地区本部では、今後もさまざまな研修を通じて役職員の啓発活動に努めてまいります。

7月
6

支店
だより

石見支店

石見支店では、支店内に「地域の作品展示コーナー」を設置しました。今回は「パッチワーク展」として、地域の皆様の作品を展示、紹介しています。今後様々な分野の作品を展示していく予定にしていますので、ぜひ石見支店にご来店いただき、地域の皆様の匠の技をご堪能ください。



支店
だより

羽須美支店



JAしまね支店ふれあい活動およびJAしまね女性部の統一行動として令和元年度から新たに行っている『おもてなしプロジェクト』に羽須美支店でも取り組んでいます。6月に支店前で女性部の皆さんと一緒に定植したナス、ケイトウの花がお陰をもちましてすくすくと成長し立派になりました。玄関前の朝顔も高く伸びて、素敵になっています。



成長した花や野菜と共に、羽須美支店職員一同皆様のご来店をお待ちしています。皆さんぜひ見に来てください。

コンビニ・他銀行ATMでのサービス停止に関するお知らせ

全銀稼働時間拡大対応等に伴い、下記日程にてATMのサービスが一部停止となりますのでお知らせ致します。

業務停止するサービス

- ・ 県外 JA、および他行金融機関、コンビニ ATM での全お取引
- ・ 県内 JA の ATM での税金・公共料金等のお支払、デビットカードサービス

サービス停止日

令和元年 9月21日(土)
令和元年 10月19日(土)
令和元年 11月 2日(土)

※当組合キャッシュカード・通帳による県内 JA の ATM での、入出金・振替・残高照会・通帳記帳は通常どおりご利用いただけます。

秋の農繁期対応についてのお知らせ

農機拠点センター

期 間 令和元年 8月31日(土) ~
令和元年10月 6日(日)

※土曜・日曜・祝祭日も営業しております。

営業時間 8:30 ~ 17:00

米の休日出荷持込対応

令和元年 8月31日(土) ~ 令和元年 9月29日(日) までは土曜・日曜・祝祭日も、午前 8:30 ~ 12:00 までの間で米の出荷受入を行います。休日に出荷を希望される方は、各営農生活事業所へ各週の金曜日までに事前に連絡をお願い致します。

第39回 JAしまね 島根おおち 地区本部 年金友の会

年金友の会
絆
企画

寿ロード

神武天皇祀る日本始まりの地

橿原神宮正式参拝と

東大寺大仏殿・興福寺

なんばグランド花月で鑑賞する

奈良の名刹・吉本新喜劇

2日間



利用予定ホテル 橿原市内 **THE KASHIHARA**

外観 イメージ

客室 イメージ

朝食 イメージ

(上記ホテルは、同等クラスまたは同等クラス以上に変更になる場合があります。)

旅のポイント

- 誰もが爆笑!笑いの殿堂「なんばグランド花月」で吉本新喜劇を鑑賞!
- 建国の聖地・橿原、ここから日本という国が始まりました。日本書紀において日本建国の地とされた橿原…天照大神の血を引く神武天皇(第一代天皇)をお祀りする橿原神宮で正式参拝致します。
- 橿原神宮の傍にある「THE KASHIHARA」にご宿泊。広々とした部屋は2名様一室でも追加代金なしのうれしい旅行代金設定となっております。
- 興福寺国宝館では、あの阿修羅像など100点以上にも及ぶ国宝や重要文化財をご覧いただけます。
- 世界最大級の木造建築物でもある、東大寺大仏殿を訪れます。

旅行実施日 令和元年
10月23日(水)~24日(木)

旅行代金 **48,800円** (大人お1人様、2~4名様1室利用) 指定配車場所起點 税込

注1)お1人様部屋ご希望の場合、追加代金として5,000円(税込)を申し受けます。
注2)お1人様お申し込みで相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、注1)記載の追加代金を申し受けます。

申込金 10,000円(旅行代金に充当します) 募集人員 200名(最少催行人員150名)
添乗員 同行いたします 切日 令和元年8月末日
食事回数 朝1回・昼2回・夕1回(弁当含む) ※但し満席になり次第締め切らせていただきます。
利用バス会社 八重タクシー、浜田交通又は同等クラス ※弊社「切羽」(事業報告)と当社ウェブサイト (http://ntour.jp/pdf/buslist.pdf)をご参照ください。当社支店へご請求下さい。

国内旅行条件(要約) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので事前にご確認の上、お申し込み下さい。

本旅行は次の条件に基づきます。
この旅行は(株)農協観光(株)が長年経験豊富な旅行業者と提携し、旅行代金に旅行代金の20%、旅行代金の30%、旅行代金の40%、旅行代金の50%、旅行代金の60%、旅行代金の70%、旅行代金の80%、旅行代金の90%、旅行代金の100%を標準料金としてお申し込みください。
●旅行代金に含まれるもの及びサービス
●旅行代金に含まれないもの
●旅行代金に含まれないもの
●旅行代金に含まれないもの

行程		入場観光	下車観光	食事
1日目	島根おおち各地(当社指定配車場所5:00~6:00) ———— <高速道> ————			
	— 奈良市内(昼食) — ◎華厳宗大本山 東大寺大仏殿 —			昼食
2日目	— ◎法相宗大本山 興福寺国宝館 — THE KASHIHARA(泊)(17:00)			
	ホテル(8:00) ———— ◎橿原神宮正式参拝 ————			朝食
	— ◎なんばグランド花月/吉本新喜劇 ————			
	——— <高速道> ———— 島根おおち各地(当社指定配車場所19:00~20:00)			

※天候・交通事情などにより、日程が変更になる場合があります。後日、改めて集合・解散地(および時刻)をお知らせします。

国内旅行保険加入のすすめ
この旅行は「うまき(国内旅行総合保険)」に加入しています。詳しくは弊社社内に問い合わせてください。
なお、お客様が、国内旅行行程中での事故などにより、後遺障害、携行品や賠償責任保険等を補償する国内旅行保険にご加入を希望される場合は、弊社社員にお問い合わせください。

年金のお受け取りは近くて便利な最寄りのJAをご指定ください

JALしまね
島根おおち地区本部

旅行に関するお申し込みお問い合わせは

観光庁長官登録旅行業第939号
TOUR (株) 農協観光代理業
島根県知事登録旅行業者代理業第17号 JALしまね島根おおち旅行センター

島根県島根郡島南町下田所277
総合旅行業務取扱管理者 若本 美次 ☎0855-83-0008

旅行企画・実施 **ボナンザ観光**

観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 農協観光
浜田支店

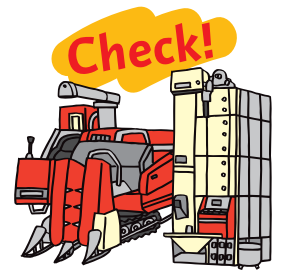
一般社団法人日本旅行業協会 正会員
浜田市田町1674 第2ビル2F ☎0855-22-1536
総合旅行業務取扱管理者 小坂 保樹



水稻

●コンバイン・乾燥調整機の点検と掃除について

間もなく収穫期を迎えるにあたり、コンバインや乾燥調整機類の点検と掃除を実施しましょう。掃除が十分出来ていないと、異品種や、コクゾウムシ・メイガなどの貯蔵害虫が玄米に混入する恐れがありますので必ず掃除を行ってください。



●収穫・調整

出穂してから約40日前後で稲刈りとなります。近年では、高温の影響により収穫時期が早まっておりますので刈り遅れとならないよう注意しましょう。

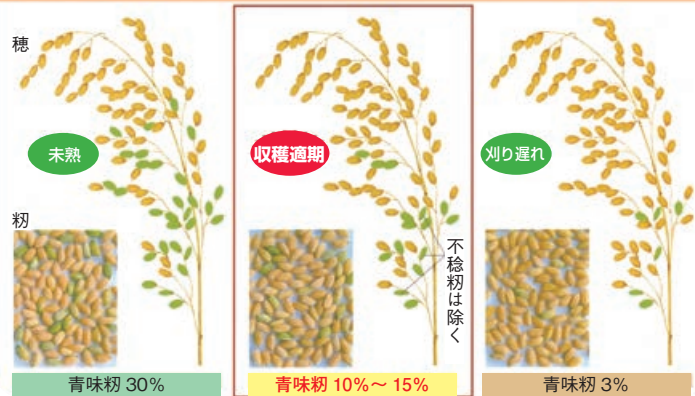
収穫・乾燥・調整の注意点として

1. 雨や雨降り直後、朝露のある状態での収穫は避ける。
2. 生籾をコンバイン袋に入れたまま長時間放置しない（ヤケ米の発生）。
3. 乾燥初期は通風で予備乾燥を行ってから本乾燥を行う。
4. 調整はロール間隔に注意し、籾の混入、肌ずれ粒を起こさない。

※乾燥の際には、過乾燥とならないよう十分に注意をしてください！

適期刈り取りで上位等級を目指そう

※圃場内でバラツキがありますので、平均的な穂を何本か抜き取りましょう。不稔籾を除き青味籾が10%～15%になった時が収穫適期です。



- 葉が緑色の状態でも、穂は十分に熟れている場合があるので、収穫の際は、穂の色を見て刈り遅れとならないよう注意しましょう。
- 収穫の目安は、青味籾が1割～1割5分程度です。

●米のトレーサビリティ（生産履歴OCR）の提出について

生産履歴が確認された米について「JAしまね米」として区分販売がおこなわれます。生産履歴の記帳を必ず実施し、履歴の提出をお願いします。

- ①生産履歴OCRを配布しております。（8月外勤日）
- ②生産履歴OCRを米の出荷5日前までにJAに提出してください。
（ライスセンターを御利用される方は、もみの受入れ5日前には、提出してください）。

重点品目野菜について病害虫の予防の徹底を図りましょう！

農薬散布される前には必ず防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守！

●白ねぎ

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬	アザミウマ類・ネギコガ ネギハモグリバエ	ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日まで 2回以内
	さび病・べと病 黒斑病・葉枯病	テーク水和剤 ^注	600倍	収穫14日前まで 3回以内
	ポトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫14日前まで 3回以内

注テーク水和剤はジマンダイセン水和剤やモンガリット粒剤等と使用回数が共通の為注意

○ポトリチス葉枯症・さび病は、出荷する葉にも影響がありますので防除の徹底をお願いします。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月中下旬	アザミウマ類・ネギコガ さび病・べと病	ハチハチ乳剤 ^注	1000倍	収穫3日前まで 2回以内
	ポトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫14日前まで 3回以内

ネギの夏休み後の土寄せは最高気温が30℃下回る時期になって行ってください！（軟腐対策）





●ナス

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬～ 9月上旬	ハスモンヨトウ・オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍	収穫前日まで 3回以内
	うどんこ病・すすかび病	アミスター 20フロアブル	2000倍	収穫前日まで 4回以内
強風等の後	褐色腐敗病	ホライズンドライフロアブル	2500倍	収穫前日まで 3回以内
		ランマンフロアブル	2000倍	収穫前日まで 4回以内

※褐色腐敗病は昨年も発生しております！
収穫時には気がつかないので予防を必ずしてください！！

●ミニトマト

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月上旬	オオタバコガ・ハモグリバエ類	プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで 2回以内
	灰色かび病・葉かび病・斑点病 うどんこ病・すすかび病	アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日まで 3回以内
	灰色かび病・葉かび病・斑点病・ すすかび病	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000～3000倍	収穫前日まで 3回以内

※単価が高い9月出荷にむけ、トマトーンの使用（200倍液）を丁寧に行いましょう。
※気温が低下し、日射が弱まる気候になったら「遮光資材」を取り除きましょう。
※10日に1回はカルプラス等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

●ピーマン

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率 / 散布量	使用時期・回数
9月上旬	タバコガ類 ミナミキイロアザミウマ	プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病・斑点細菌病 斑点病	カスミンボルドー	1000倍	収穫前日まで 5回以内

※雨が多い時期はヘタの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。
※10日に1回はカルプラス等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

●広島菜【8月下旬～9月上旬定植】

【定植の適期は播種後20日!!】定植が遅くならないよう圃場準備は早めに!!

防除の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付前	根こぶ病	オラクル粉剤 (JA1/3助成あり)	20kg/10a 全面土壌混和	定植前 2回以内

定植時にネキリムシの対策を忘れずに!!

防除の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付時	ダイコンハムシ	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a 全面土壌混和	定植時 1回

●キャベツ【7～8月定植】

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/散布量	使用時期・回数
8月下旬～ 9月上旬	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍	収穫前日まで 3回以内
	軟腐病・黒腐病	カスミンボルドー	1000倍	収穫7日前まで 4回以内

●キャベツ【これからの定植】

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/散布量	使用時期・回数
植付前	アブラムシ アオムシ・コナガ	ジュリボフロアブル	200倍 育苗箱かん注 1枚/0.5%	育苗期後半～定植当日 1回

和牛情報

令和元年7月子牛市場成績表



隠岐“小高”西部“弱気配”中央“反発”

本県7月の子牛市場は、隠岐・西部・中央で開設し637頭の上場があり、平均価格は、隠岐が647,117円(前回比10千円高)で“小高”、西部市場が701,718円(前回比18千円安)で“弱気配”、中央市場は769,306円(前回比33千円高)で“反発”の取引となりました。

隠岐市場では年3回の開設のため上場牛の月齢にかなりのバラツキがありました。発育良好な牛が多くみられました。西部市場の上場牛では、バラツキが大きく、過肥気味の牛も散見されました。中央市場の上場牛では、発育状況にややバラツキがあり、発育良好な牛がみられた反面、発育の劣る牛や過肥気味の牛も散見されました。

枝肉相場においては、今月に入ってから一部上物は活発な取引がされていますが、全国的に5月の大型連休の価格低下が尾を引くような形で推移している状況です。このような中で今後需要期に向かってどのように枝肉相場が動いていくか不透明感が強まっており、それを反映するかのように素牛相場も不安定な状態となっております。

しかしながら、素牛価格が依然として高騰している状況には変わりはなく、肥育経営の圧迫感は強みを増しています。

県外移出率

■雌▶56.29% ■去勢▶38.18% ■合計▶46.33%

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
中央市場	メス	91	1,137,240	211,680	691,016
	ヌキ	116	1,243,080	633,960	829,215
	合計	207			769,306
島根おおち	メス	9	816,480	211,680	633,720
	ヌキ	12	925,560	633,960	825,415
	合計	21			743,811
瑞穂	メス				
	ヌキ	2	837,000	815,400	826,200
	合計	2			826,200
羽須美	メス				
	ヌキ				
	合計	0	0	0	0
石見	メス	1	816,480	816,480	816,480
	ヌキ	1	633,960	633,960	633,960
	合計	2			725,220
川本	メス	2	576,720	549,720	563,220
	ヌキ	2	897,480	662,040	779,760
	合計	4			671,490
邑智	メス	5	753,840	211,680	619,920
	ヌキ	6	925,560	802,440	879,840
	合計	11			761,695
大和	メス	1	660,960	660,960	660,960
	ヌキ	1	791,640	791,640	791,640
	合計	2			726,300
桜江	メス				
	ヌキ				
	合計	0	0	0	0

夏でも涼しく快適

ONWARD
オンワード商事株式会社

空調服

この「空調服」は、(株)セフト研究所・(株)空調服の特許および技術を使用しています。「空調服」は、(株)セフト研究所・(株)空調服の商標です。「ONWARD 空調服」は、(株)セフト研究所・(株)空調服の登録商標です。

お問い合わせは、
各営農生活事業所まで

- 瑞穂事業所：0855-83-1132
- 羽須美事業所：0855-88-0121
- 石見事業所：0855-95-1224
- 川本事業所：0855-72-0330
- 邑智事業所：0855-75-1861
- 大和事業所：0855-82-2557
- 桜江事業所：0855-92-8025



風が通り抜ける
新感覚の涼しさ

熱中症対策の
最前線

今年の夏も猛暑が予測されています。
熱中症防止にご準備下さい。

「空調服 TM」は、左右の腰の辺りに取り付けられた2基の小型ファンによって、服の中に外気を取り込み汗を蒸発させることによる気化熱でカラダを冷やし、涼しく快適に過ごしていただくための商品です。

令和元年度 組合員親睦ゴルフ大会 開催のお知らせ

組合員の皆様の親睦と、健康増進を目指し「JA組合員親睦ゴルフ大会」を開催します。
皆様ふるってご参加ください。

とき **令和元年 10月4日(金)** ところ **金城カントリークラブ**

参加資格：JAしまね島根おおち地区本部の組合員（組合員家族を含みます）

出場予定：30組 120名

競技方法：ダブルペリア方式（8：30スタート予定）

参加費用：1,000円

プレー料：参加者負担

申込方法：各支店までお申込みください。

※ご希望の組み合わせを指定される場合は、連名でお申込みください。

（必要事項：氏名、生年月日、組合表のお届け先住所）

申込書はホームページからもダウンロードできますのでご利用ください。

URL <https://ja-shimane.jp/shimaneoochi/2019/08/2029/>

申込期限：9月20日（金）※定員になり次第締め切らせていただきますので予めご了承ください。

その他：組み合わせは決定次第ご連絡致します。

終了後の閉会式は行いません。賞品、成績表は後日お届け致します。



お問い合わせ先：島根おおち地区本部総務課 ☎ 0855-83-1801

第8回 JAしまね 島根おおち地区本部 年金グラウンドゴルフ大会参加者募集のお知らせ



この度『第8回JAしまね島根おおち地区本部年金グラウンドゴルフ大会』を
下記日程にて開催いたします。

是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

開催日：令和元年 10月2日(水)

※小雨決行

開催場所：石見スタジアム

※駐車場は石見スタジアム周辺をご利用ください。

参加費：500円（当日ご持参ください）

参加資格：JAしまね島根おおち地区本部年金受給者・予約者

募集人数：200名（申込順）

大会日程：受付開始時間 午前9時00分～

開会式 午前9時30分～

募集要項：

- 1) 募集締切 令和元年9月13日(金)
- 2) 募集方法 各支店窓口へお申出ください。
瑞穂支店 83-1131 羽須美支店 88-0121
石見支店 95-1221 川本支店 72-0556
邑智支店 75-1220 大和支店 82-3131
桜江支店 92-1231

※定員になり次第締め切らせていただきますので予めご了承ください。

※個人情報の取扱いについて ご提出いただきました個人情報は、当大会における名簿作成及び参加者への配布、受付、大会運営に必要な範囲でのみ使用します。





島根おおち地区本部

女性部
が行く





問い合わせ先 ☎83-1802

では当地区本部営農部花弁担当の三浦指導員から、出荷するまでのケイトウの管理について説明があり、「花だけでなく葉も大切なので葉色を保つため施肥、病害虫の管理、風の対策などを徹底して欲しい。」と、それぞれの対策について詳しい指導がありました。続いて出荷については、花クビの状態を見て採花する事、水揚げはしっかりとする事、ケイトウの出荷規格と形態、箱詰めなどの注意事項など、資料の写真や準備されたケイトウの花（良い例の花、悪い例の花）を見たり、実際に出荷箱に詰めて詳しく説明指導をいただきました。参加した女性部員は、少しでも品質の良いケイトウを出荷しようと、気になる点について熱心に質問を繰り返して出していました。最後に出荷日、出荷時間の確認をして終了しました。

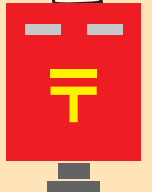


ケイトウ栽培講習会開催

7月
22
・
7月
24

島根おおち女性部が取り組んでいるケイトウ栽培が、いよいよ出荷の時期をむかえ、出荷目合わせ講習会が管内6箇所で開催されました。講習

お便り紹介



今月も皆さんからのおたよりがたくさん届いています。ありがとうございます。その他、JAに対するご意見ご要望などもお寄せください。

◇さつまいも苗植え交流会には、孫達3人、中学1年、小学5年、保育所年長さんが今まで参加させていただき、いつも楽しかったと大喜びで帰ってきます。参加させていただきありがとうございました。これからも継続して頂きたいと思えます。

瑞穂支店管内 Iさん 70代

●JA「ふれあい農園」で保育園児たちと行うこの交流会も今年で14回目。交流会開始当時、一緒にさつまいも苗を植えた子供たちもそろそろ二十歳を迎えられると思うと、あつと言う間だなとビックリします。「昔、一緒にさつまいも苗を植えたみなさん！覚えてますか？」秋には「いも掘り交流会」をします。

「みなさん！一緒にいも掘りしませんか？」

◇地区本部トピックスでは各地の色々な行事や産物などが記載されており参考になったり、感動したりしています。老いてなお、出来る事は参考にして作ったり、勉強したりしないと、と思えます。畑の作物を朝見て廻るのも楽しい一日の日課です。また、来月の「しまねびより」お待ちしております。

邑智支店管内 Kさん 90代

●毎朝、畑の作物の成長を見て廻られるとの事、お元気で何よりです。畑の作物も日々変化をして、芽が出て、葉が出来、花が咲き、実が出来と楽しいですね。また、目だけでなく口も楽しませてくれる作物はとても可愛いですね。

◇今年梅雨入りも遅く、なかなか梅雨明けもまだの中、食欲もない時。今月号の『しまねレシビ』で「とうもろこしごはん」（とうもろこしの芯の旨みまで活用）と、「サツパリ煮」。我が家では豚を鶏むね肉に変更して作りおいしくいただきました。

桜江支店管内 Mさん 60代

●「とうもろこしごはん」は、とうもろこしの「芯」を一緒に炊くのが驚きでした。そして「簡単豚肉のサツパリ煮」を豚肉のかわりに「鶏むね肉」で作られたとの事、これからの暑いシーズンに、よりアツサリ食べることができそうです。夏は体力維持が大切！しっかりと食べて栄養補給、水分も充分とって夏に負けない身体を作りましょう！

◇年金生活に入り、家庭菜園ができるようになりました。父、母から農地をまかされ、本誌の情報が多かったです。農作業の事、年金の事、JA事業のあれこれ、勉強になります。妻は、島根産れの食材レシビで新しいメニューが増えてよるこんでいます。

羽須美支店管内 Sさん 60代

●いつもお読みいただきありがとうございます。記事をご活用いただいているご様子をお伺いし、大変励みになります。これからもみなさまに読んでいただける『JAしまねびより』で有るよう、分かりやすく、タイムリーな地域に密着した話題を掲載していきたいと思えます。みなさまのご意見等もお聞かせください。

ねんきんびより

8月年金相談会

大和支店 8月22日(木)
14:00~20:00

桜江支店 8月25日(日)
10:00~15:00

～遺族年金ってどんな年金 なんでしょー!! 第3弾～

遺族年金は、国民年金または厚生年金加入中、受給中または受給資格のある方が亡くなられた時に、その方によって生計を維持されていた遺族が受けることができる年金です。加入している年金等で受取方が違います。

今月も事例を交えて学習してみましょう!!

事例1、夫73歳。37年間(444ヶ月)会社に勤務して60歳で退職。今現在老齢基礎年金と老齢厚生年金を受給中。妻70歳。独身時代に5年間会社勤めがあり、今現在老齢基礎年金と老齢厚生年金を受給中。突然夫が倒れなくなった場合

夫の年金額

老齢厚生年金 800,000円

老齢基礎年金 780,100円

妻の年金額

老齢厚生年金 75,000円

老齢基礎年金 780,100円

遺族厚生年金=800,000円×3/4+136,542円(経過的寡婦加算)=736,542円

ただし、妻老齢厚生年金を75,000円受給中なので遺族厚生年金が75,000円停止となり、661,542円遺族年金として支給される。

遺族厚生年金 661,542円

停止部分 75,000円

遺族厚生年金 661,542円

老齢厚生年金 75,000円

老齢基礎年金 780,100円

妻の年金額

1,516,642円となる

※経過的寡婦加算とは

厚生年金20年以上掛けている夫が死亡の場合、妻65歳より受給する遺族年金に加算される年金のこと。(妻の生年月日により585,100円～19,527円が遺族年金に加算され、531年度生まれの方からは発生しない。)

遺族年金受給するには条件があります。その1つに国民年金・厚生年金合わせて25年以上であること。事例1.は25年以上ありますので図のような受給となります。

また妻の年齢が65歳までは遺族厚生年金かご自身の厚生年金どちらかを選択する必要があります。遺族年金は加入されている年金、納付状況、遺族の状況等で受給する内容が違ってきます。一度相談される事をお勧めします。

来月も厚生年金加入の方の遺族年金について学習しましょう!!

暑い日々が続きます。
熱中症には十分気をつけてください!!



年金に関する疑問・質問は
お気軽にご相談ください

JAしまね 島根おおち地区本部 金融共済部 金融課 TEL.83-1803

9月の行事予定

9月18日(水)

ゆとり倶楽部

場所: 地区本部

内容: 消費者問題『学ぼう! 催眠商法、マルチ商法 気を付けよう! 振り込め詐欺』

9月の外勤日 19日(木)・20日(金)・21日(土)

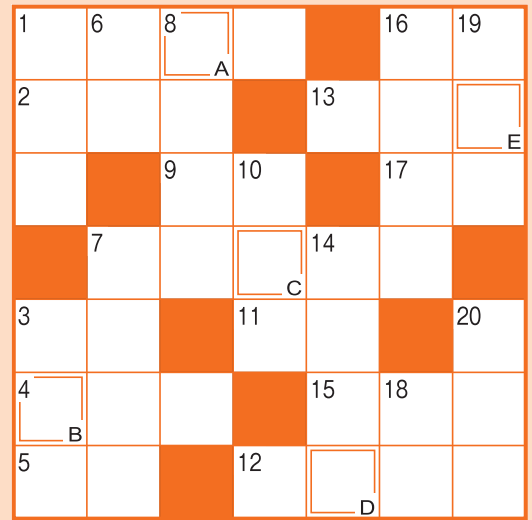
タテのカギ

- ① テレビのリモコンにはたくさん付いています
- ③ くだらかな——が続く丘陵地
- ⑥ 合唱部が練習するもの
- ⑦ 耳かきと共に行方不明になりやすいそうです
- ⑧ 今からこれじゃ、——が心配だなあ
- ⑩ 仲人から紹介を受けて、伴侶候補と会います
- ⑭ 宴会でグラスをみんなで掲げて……
- ⑯ 相撲の勝敗を記録した——表
- ⑱ ゴホゴホゴホ
- ⑳ 価格が高くなること
- ㉑ 煮物などに使う、アルコールを含む調味料

ヨコのカギ

- ① 9月1日は——の日。非常持ち出し袋や避難経路を確認しましょう
- ② 高知の名物料理、カツオの——
- ③ 皮膚の表面にある細かな模様。——の細かい肌
- ④ 食器を拭く布です
- ⑤ いがに守られた実がなります
- ⑦ 晴れた十五夜にはとても明るい
- ⑨ 矢を射る道具
- ⑪ 陽の反対語
- ⑫ 国や地方自治体に納めます
- ⑬ 首都はモスクワ。大きな国です
- ⑮ 肉料理に添えたり、刻んでスープに浮かべたりする香草
- ⑯ 傘にも凧(たこ)にもありません
- ⑰ バラの茎にある突起

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え A B C D E

応募要項

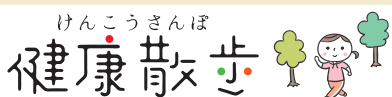
- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒696-0222 邑智郡邑南町下田所277
JAしまね 島根おおち地区本部 組合員課 「クイズ」係
2019年9月5日（木）（当日消印有効）

先月号の答え

「キモダメシ」



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



要注意、熱中症

JA島根厚生連

毎日暑い日が続いていますね。夏は熱中症に注意が必要です。重症化すると命に関わります。熱中症の症状を理解し、予防に努めましょう！

● 熱中症は、高温多湿な環境に私たちの身体が適応できないことで生じる様々な症状の総称です。以下のような症状が出たら、熱中症にかかっている危険性があります。

1. めまいや顔のほてり
2. 筋肉痛や筋肉のけいれん
3. 体のだるさや吐き気
4. 汗のかき方がおかしい（何度拭いても汗が止まらない、まったく汗が出ないなど）
5. 体温が高い、皮膚の異常
6. 呼びかけに反応しない、まっすぐ歩けない
7. 水分補給ができない

このような症状が出ないよう、日頃から熱中症の予防・対策をおこないましょう。

● 熱中症の予防のための3つのポイント

- ① **脱水対策**——のどが渇かなかつたり、汗をかかなくても水やお茶などでこまめに**水分補給**します。大量に汗をかくと、汗とともに塩分（ナトリウムなど）も失われます。その場合は、水分に加え、塩分補給が必要です。スポーツドリンクを利用してもよいです。入浴時や睡眠時にも汗をかいているので、入浴前後、寝る前、起床時にも水分を補給しましょう。
- ② **体の内部の温度を上げない**——外出するときは、11～15時ごろの**日中の暑い時間帯**を避けます。また、外出や屋外での活動をする場合は、天気予報や環境省の「熱中症予防情報サイト」で、暑い日や時間帯を確認するとよいでしょう。外出したら、こまめに涼しい場所での休憩をはさみ、水分補給をします。
- ③ **室内を涼しくする工夫**——熱中症の約40%は室内で起きているというデータもあります。部屋はカーテンなどで日ざしを遮り、**エアコンと扇風機を併用**して温度を下げましょう。特に高齢者は、暑さを感じにくい場合があります。**温度計や湿度計**を使って数字で確認し、温度は28℃、湿度は70%を超えないようにします。

正しい理解・適切な予防で、暑い夏を乗り越えましょう！！

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査
ハチ駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



**島根県立農林大学校
入学試験実施のお知らせ**

- 募集人員** ①農業科(有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛) / 40名【修業年限2年】
- ②林業科 / 20名【修業年限2年】
- ③短期農業経営者養成科 / 5名【修業年限1年】

- 試験日** 学校長推薦 / 令和元年10月30日(水)
- 一般前期 / 令和元年12月11日(水)
- 一般後期 / 令和2年2月13日(木)
- 地域推薦 / 随時
- 自己推薦 / 令和元年10月30日(水)、31日(木)
- ※一般後期試験は実施しない場合があります。

- 試験会場** 島根県立農林大学校 (大田市)

◆詳しくは◆
農林大学校の
ホームページ、または
農林大学校
☎0854-85-7012
まで。



簡単ガパオライス



●材料 (2人分)

鶏ひき肉…………… 180g	赤唐辛子 (小口切り) …… 1本
酒…………… 大さじ1	卵…………… 2個
赤パプリカ…………… 1/2個	④ オイスターソース、ナンプラー …… 各大さじ1
ピーマン…………… 60g	
玉ねぎ…………… 60g	サラダ油…………… 大さじ1
バジル…………… 20枚	ごはん…………… 2人分
にんにく (みじん切り) …… 5g	

●作り方

- ①玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカは1cm角切り。
- ②フライパンにサラダ油、にんにく、赤唐辛子を入れ香りをだす。
- ③鶏ひき肉を入れ、酒をふりかけて炒める。
- ④玉ねぎ、ピーマン、赤パプリカを入れ炒め、しんなりしたら④の調味料を入れる。
- ⑤手でちぎったバジルを軽くまぜ、火を止める。
- ⑥目玉焼きを焼く。
- ⑦皿にごはんを盛り、⑤と目玉焼きをのせる。



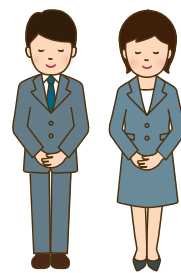
ご飯の上にピリ辛ひき肉を乗せ、目玉焼きと一緒に食べるタイ料理の定番ご飯「ガパオライス」です。日本人の口にも合う味です。暑い夏にピッタリの料理で、フライパンひとつで作れるので、サッと手早く食べたい時にもおすすめです。

JA共済ご加入時におけるおさいふカードへのポイント付与廃止のお知らせ

平素はJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、当JAでは、新規でJA共済にご加入いただいたご契約者のみなさまに、「おさいふカード」へのポイント付与を行っておりましたが、**行政庁の指導により**、令和元年9月30日までの新規共済契約をもちまして、おさいふカードへのポイント付与を終了させていただきます。何卒ご了承いただきますよう、よろしくお申し上げます。

今後も組合員・利用者のみなさまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は大田市三瓶町の「浮布池」です。浮布池は、三瓶山の堆積物が谷の出口をふさいで出来た堰き止め湖で、池の南岸近くにある中の島には瀬幣姫神社 (にべひめじんじゃ) が祀られています。池の北岸からは水面に浮かぶ神社の鳥居が望め、幻想的な風景が当地に伝わる女性と大蛇の悲恋伝説を連想させます。

編集後記

本店トピックスでご紹介した「アグリミーティング」と「大産直市」。私も高校生ブースを見学しましたが…、高校生たちがキラキラした眼差しで商品を説明してくれると買わないわけにはいきませんよね。おすすめされるがまま、ついつい買すぎてしまいました。後悔はありません。おじさんは格好をつけたかったのです。高校生のみな! おいしかったよ! (和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

